

ねん がつ にち
2022年3月13日

しじゆんせつだいにしゆじつ
四旬節第二主日

きくち いさおだい しきょう
菊地 功大司教 メッセージ

しじゆんせつ
四旬節は、わたしたちが信仰の原点に立ち返るときです。その原点は、一体どこにある
のでしょうか。

そうせい き
創世記は、まだアブラムと呼ばれていたアブラハムを神が選び、契約を結ばれた出来事
を記しています。暗闇の中で天を仰ぎ、「星を数えることができるなら、数えてみるが良
い」と告げられたアブラハムの驚きを想像します。現代の東京の夜空であれば、もし
かしたらすべての星を数えてしまえるのかも知れませんから、それではなんとも情けな
い話ですが、創世記の時代の夜空ですから、まさしく満天の星であったことだろうと思
います。逆に言えば、そのこと自体が、人間が築き上げた繁栄が、結局は神の存在を見
えないものとしてしまっていることを象徴しているのかも知れません。アブラハムの
信仰の原点は、暗闇に満天の星を眺め、未来に向けた想像を超えた約束を与えられ神と
契約を結んだ、そのときの驚きであったと思います。

きょうかい てがみ じゅうじ か
パウロはフィリピの教会への手紙で、キリストの十字架にこそわたしたちの信仰の原点
があることを強調し、信仰における旅路は、わたしたちをこの世での繁栄ではなく、本国
である天の国へと導いていることを指摘します。

ふくいん がんぜん えいこう しめ ごへんよう で きごと
ルカ福音は、イエスがペトロ、ヨハネ、ヤコブの眼前で栄光を示された御変容の出来事
を記します。神の栄光を目の当たりにしたペトロは、何を言っているのか分からないま
まに、そこに仮小屋を三つ建てることを提案したと福音は伝えます。ペトロはその栄光
の中にとどまりたかったのですが、イエスは困難に向けて前進を続けます。福音は
モーセとエリヤが共に現れたと記します。律法と預言書、すなわち旧約聖書は、神と
イスラエルの民との契約であり、信仰と生活の規範でありました。そこに神の声が響い
て、「これはわたしの愛する子。これに聞け」と告げたと記されています。イエスこそが
旧約を凌駕する新しい契約であること、すなわちイエスに従う者にとっての信仰の
原点であることを、神ご自身が明確にしました。

わたしたちの^{しんこう}信仰の^{げんてん}原点は、イエスの^{ことば}言葉と^{おこな}行いにあります。^{きょうこう}教皇ベネディクト 16 世は、それについて、「^{しんこう}信仰とは、^{なに}何よりもまず、イエスとの^{ふか}深く^{こじんてき}個人的な^{であ}出会いです。そして、イエスの^{ちか}近さ、^{ゆうあい}友愛、^{あい}愛を^{たいけん}体験することです（2009 年 10 月 21 日の^{ねん}一般^{がつ}謁見^{にち}）^{いっばんえっけん}）」と述べています。

^{しじゅんせつ}四旬節は、^{しんこう}信仰の^{げんてん}原点、^{こじんてき}すなわちイエスとの^{であ}個人的^た出会いに^{かえ}立ち返るために、^{おんちち}御父の^いいつくしみに^い生きるようにと^{すす}勧めます。いつくしみの^ぐ具体的な^{こうどう}行動の中^{なか}でわたしたちは^{ひと}人と^{まじ}交わり、そこにいつくしみそのものである^{しゅ}主がおられるからに^{ほか}他なりません。わたしたちは^{みずか}自らの^{ふか}あわれみ^{こうどう}深い^{つう}行動を通じて、また^{たしや}他者からの^{わざ}あわれみの^{わざ}業によって、そこにおられる^{しゅ}主と^{であ}出会います。わたしたちの^{しんこう}信仰の^{げんてん}原点の^{ひと}一つは、いつくしみの^{わざ}業、^{あい}愛の^{わざ}業であります。

^{せんじつ}先日 3 月 11 日^がで、^{にち}東日本大震災^{ひがしにほんだいしんさい}から 11 年^{ねん}となりました。^{きょうかい}教会は、^{さいがい}災害の前^{まえ}から^{じもと}地元に^ね根^づ付いて^{とも}共に^い生きてきた^{そんざい}存在として、これから^{とうほく}東北の^{じもと}地元の^{かたがた}方々と^{とも}共に^{あゆ}歩み続ける^{つづ}存在^{そんざい}です。^{きょうかい}教会の^{とうほく}東北におけるこの 11 年^{ねんかん}間の^{あゆ}歩みは、どこからか^さやってきて^い去って行く^{いち}一時的な^{じてき}救^{きゅうえんかつどう}援活動に^{とど}留まらず、^{とうほく}東北の^ちそれぞれの^ち地で、^い地域^い共同^い体の^{みな}皆さんと^{しょうらい}将来に^{あゆ}わたって^{なか}歩みをと^{きぼう}もにする^{ひかり}中で、^ういのちの^だ希望の^め光を生み出すことを^め目指して^めきました。そこに^{しゅ}主イエスが^{れんたい}おられます。^さ連帯と^あ支え^{まじ}合いの^{なか}交わりの中に、^{しゅ}主イエスが^{しゅ}おられます。^ぐ具体的な^{ひと}人と^{ひと}人との^{まじ}交わり^{なか}の中で、わたしたちは^{しゅ}主と^{こじんてき}個人的に^{であ}出会います。それぞれの^{しんこう}信仰の^{げんてん}原点を、^み見つめ^{なお}直しましょう。